

プレス発表資料(公開実験お知らせ)

平成18年7月3日
独立行政法人防災科学技術研究所

壁で支えるヨーロッパの新型木造建物

—新壁式木造建物の公開加振実験—

独立行政法人 防災科学技術研究所(理事長 岡田義光)は、イタリア国立樹木・木材研究所と共同で、防災科学技術研究所の大型耐震実験施設において、7月10日(月)に新壁式木造建物の公開加振実験を下記により実施致します。

1. 実験主体等

独立行政法人 防災科学技術研究所
イタリア国立樹木・木材研究所 (CNR IVALSÀ)

2. 実験日時

平成18年7月10日(月) 13:30~15:30

3. 実施場所

独立行政法人防災科学技術研究所 大型耐震実験施設
〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1

4. 内 容: 別添1のとおり

5. 本件配布先: 文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

実験は、報道、防災、研究関係者等に公開いたします。取材を希望される場合は、お手数ですが別添申込書にて、防災科学技術研究所広報普及課へご連絡ください。

<内容に関するお問い合わせ>

独立行政法人防災科学技術研究所
箕輪 親宏 電話 029-863-7601
イタリア国立樹木・木材研究所
所長 アーリオ チェコッティ
マウリッツィオ フォレーザ
吉田弥生 電話: 029-863-7683

(連絡先)

独立行政法人防災科学技術研究所
企画部広報普及課成果普及係
菊地、山科
電 話: 029-863-7783
F A X: 029-851-1622

1. 実験概要

独立行政法人 防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、イタリア国立樹木・木材研究所（CNR IVALSA）と共同で防災科学技術研究所の大型耐震実験施設において、7月10日（月）に新壁式木造建物の耐震実験を実施します。

新壁式木造建物は、ヨーロッパで開発されたもので、合板だけを用いて建設されています。壁、床、屋根は、厚さ 5cm から 30cm 程度の合板（2cm 程度の木材を隙間無く密に貼り合わせた合板）で構成されており、窓と扉部の開口部は壁を削り抜いて設け、壁と床の接合には金物と大型ネジを用いています。（建材は、イタリア トレンティーノ地方の木材をドイツで合板加工し、イタリアで建物用に裁断され、建設現場で組み立てます。）イタリア国立樹木・木材研究所のあるイタリア北部のトレンティーノ地方は、アルプスの南側に位置し、森林が豊かで木造の建物も多く見られる環境です。ここでは、森林業も盛んで、環境保全のためにも将来、森林業の育成の重要性が認識されています。

イタリアは、地震国であり、1908年12月28日シシリー島メッシナ地震（死者110,000名）、1976年5月6日北東部で発生した地震（死者1,000名近く）及び2002年10月31日南部で発生した地震（死者29名）などの地震被害があります。

実験に使う地震波形は、世界の耐震設計で古くから広く用いられている1940年カリフォルニアメキシコ国境近くエルセントロで取れた強震記録を用い、耐震性を検証します。

実験で得られた結果は、今後のヨーロッパの耐震基準に反映させる予定です。

2. 実験スケジュール及び試験体概要

1) スケジュール

7月10日（月）13時30分～15時30分

13:30 挨拶 防災科学技術研究所 理事 小中 元秀

イタリア トレンティーノ地方科学官ジャンルーカ サルバトーリ

イタリア 大使館産業担当 ミケーレ ミエーレ

13:45 試験体説明 イタリア国立樹木・木材研究所所長 アーリオ チェコッティ

14:15 注意事項 防災科学技術研究所 箕輪 親宏

14:30 振動台実験 入力地震波

エルセントロ 南北成分 0.35G （震度5強相当）

エルセントロ 南北成分 0.50G （震度5強相当）

15:00 実験結果 説明 および 質疑

15:30 終了

2) 試験体概要

- ・木質構造の3階建て（階高10m、平面は7m×7m）の実物大建物（別添2：写真）
- ・試験体には、約100個センサーを取り付け、挙動を確認します。
- ・実験時の加振は、向かって横一方向となります。



写真1：振動台に置かれた新壁式木造建物



写真2：開発された厚手の合板

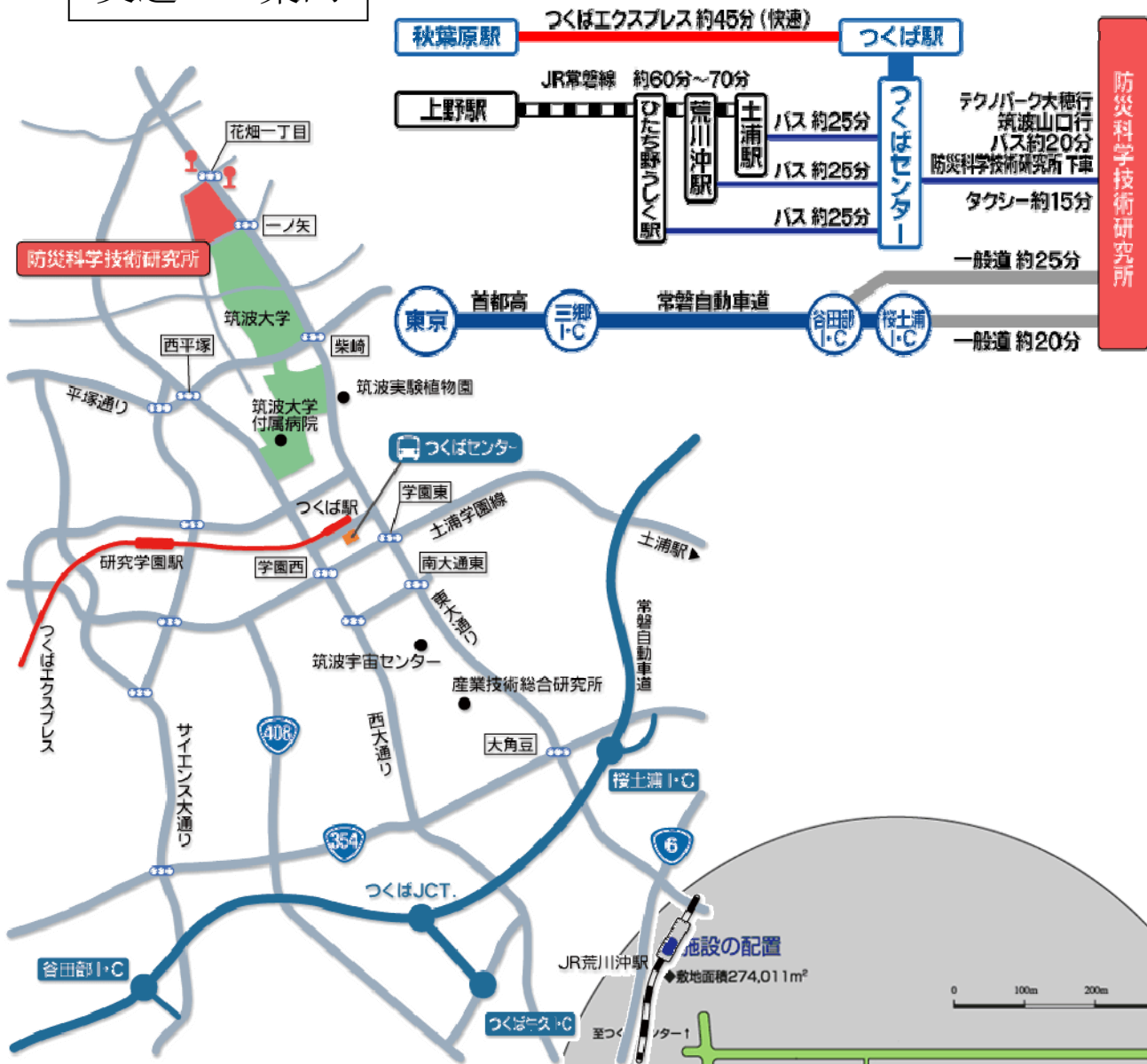


写真3：イタリアでの新壁式木造建物の建設現場

【取材上の留意事項】

- ・ 実験は作業の都合などで予定が変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 加振中も撮影いただいてもかまいません。(ストロボ等の発光可能)
- ・ 安全には細心の注意を払っております。取材に当たっては現場での指示に従ってください。

交通のご案内



当日は直接大型耐震実験施設にお越しください。
施設裏に駐車場があります。



防災科学技術研究所
企画部 菊地 行き
(FAX : 029-851-1622)

ご回答用紙

お手数ながら7月7日(金)までにご回答お願い申し上げます

件名：壁で支えるヨーロッパの新型木造建物
—新壁式木造建物の公開加振実験—

1. 御社名：

2. ご所属：

3. お名前：

4. 人数：

5. ご連絡先：(TEL)

(FAX)

本様式は、記者専用です。お間違いの無いようにお願いします。